

第18回若年者ものづくり競技大会 フライス盤職種 Q&Aについて

No	質問	回答
1	<p>傾斜ブロックについて 表には長さ60mm:幅20mm:高さ40mm程度、傾斜角度30° 又は 60° と記載されています。当校にある斜面ブロックの寸法は、長さ約85mm:幅15mm:高さ50mm、傾斜角度30° 又は 60° です。また、持参工具注意事項の注5にあります斜面ブロックの形状が多少異なります。競技大会で使用可能でしょうか？</p> 	<p>使用可です。 よろしくお願ひいたします。</p>
2	<p>今大会の持参工具一覧に示されている“傾斜ブロック”的寸法について 下部注5に示されている寸法は、A60mm B40mm L20mmではないでしょうか？ A→長さ B→高さ L幅 製品の厚みが30mm・40mmのため使用できません（当て板が使用不可のためチャックでない）</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。 持参工具一覧表につきまして、P5の注5の図面中の指示寸法（A、LおよびQ）を訂正いたします。ご指摘の通り、A60mm B40mm L20mmです。併せて、角度Qにつきましても、図に併せてQ30°に変更いたしました。詳細は、別添資料にて協会HPに公開いたします。よろしくお願ひいたします。</p>
3	<p>傾斜部の測定について 今大会の課題において、外周の角度面取り部（30° 部）の要素が設定されています。この加工に対し、持参工具のみでは加工部の測定ができません。測定するためにピンゲージを持参工具に追加頂きたく。</p>	<p>本課題では、課題の指示公差を踏まえまして、ピンゲージは不可といたします。よろしくお願ひいたします。</p>
4	<p>勾配組立図の★マークのところが隙間±0.02となっておりますが、組立寸法50±0.02ということでよいでしょうか。</p>	<p>記載を頂いている通り、表題欄中の隙間は組立寸法の誤りです。詳細は、別添資料にて協会HPに公開いたします。よろしくお願ひいたします。</p>
5	<p>スコヤを斜面ブロックとして併用することは可能でしょうか。また、その際スコヤの寸法は斜面ブロックの規定寸法内に入れる必要はありますでしょうか。</p>	<p>スコヤを斜面ブロックとして併用することは可です。</p>
6	<p>斜面ブロックの修正によって、修正前に準備したブロックは使用できなくなりますか？</p>	<p>使用を認めます。 今回は、課題公開にあたり十分な推敲ができるおらず、修正を行ったこと、先ずは、お詫び申し上げます。今回の修正につきましては、持参工具等一覧のP4には“長さ60mm：幅20mm：高さ40mm程度 傾斜角度30° 又は60°”と記載しております。一方で、P5の注5はAとL寸法が逆に表記されておりました処を修正させて頂きました。ただし、すでに注5を確認し準備を進めている参加校様も多いかと存じます。 そこで、度々の修正となり大変申し訳ございませんが、（参考寸法）長さA：20～60mm、幅L：20～60mm程度で対応させて頂きたく存じます。“程度”につきましても、参考寸法・形状として注5に記載させて頂きます。詳細は、別添資料にて協会HPに公開いたします。 今回の訂正は、選手をはじめご指導されている先生方に大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございません。何卒、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。</p>